

**第2回(仮称)港区立科学館プラネタリウム機器等製造業務委託事業候補者選考委員会
会議録(要旨)**

会議名	第2回(仮称)港区立科学館プラネタリウム機器等製造業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	平成29年8月7日(月曜日)午後4時から午後6時まで
開催場所	教育委員会室
委員	NPO法人東亜天文学会理事長 山田 義弘(委員長) 教育委員会事務局次長 新宮 弘章(副委員長) お茶の水女子大学 副学長 千葉 和義(委員) 平塚市博物館学芸員 馬 宏道(委員) 教育委員会事務局指導室長 松田 芳明(委員)
事務局	教育政策担当
会議次第	1 開会 2 第1回(仮称)港区立科学館プラネタリウム機器等製造業務委託事業候補者選考委員会 会議録(要旨)について 3 一次審査通過事業者の決定について 4 二次審査の実施について 5 その他 6 閉会
配付資料	・次第 ・資料1 第1回(仮称)港区立科学館プラネタリウム機器等製造業務委託事業候補者選考委員会 会議録(要旨) ・資料2 一次審査通過事業者について(案) ・資料3 一次審査採点集計表 ・資料4 二次審査の実施について(案) ・参考資料 同種・類似業務実績(様式第4号)※3者分
会議の内容	
委員長	【1 開会】 ～詳細省略～ 【2 第1回(仮称)港区立科学館プラネタリウム機器等製造業務委託事業候補者選考委員会 会議録(要旨)について】 ○第1回選考委員会の会議録(要旨)について、各委員資料1の内容で決定してよろしいか。
全委員	(異議なし)

委員長	<p>○資料1の内容で決定する。</p> <p>【3 一次審査通過事業者の決定について】 (事務局より資料2、3の説明)</p>
委員長	<p>○これより、審査結果について意見交換をした上で、二次審査に進む事業者を決定する。各委員、意見はあるか。</p>
B委員	<p>■全体的な感想</p> <p>○参加事業者3者とも非常にレベルの高いものであった。コストだけを意識した提案ではなく、限られた予算の中で、最大限工夫し、各事業者の魅力を出していきたいという気持ちが伝わってきた。実現するかどうか分からないが、冒険的な提案は、実現できると仮定して採点した。A事業者はスポーツカー、B事業者、C事業者は国産高級車という印象を受けた。</p>
C委員	<p>○A事業者は機材等で魅力的に感じたが、書面だけでは採点が難しかった。番組については、参考資料として各事業者のDVDがあったため、わかりやすかった。</p>
D委員	<p>○提出書類のわかりやすさ、丁寧さが採点のポイントとなった。A事業者は少しわかりにくい印象を受けた。B事業者、C事業者はどちらも見やすい資料であったが、B事業者は一部わかりにくい点があり、C事業者に劣ると感じた。C事業者は港区オリジナル番組の内容が、港区をよく理解している提案だと感じたため、高く評価した。</p>
E委員	<p>○A事業者は一見魅力的であるが、工程表などを見ると、業務を遂行していく能力があるのかどうか不安な部分がある。C事業者は内容、資料の出来が良く、説得力があるように感じた。</p>
A委員	<p>○各事業者が非常に意欲的で、他自治体でのプロポーザルと比べてもレベルが高いと感じた。ただ、今の時代には当たり前になっている内容を提案していたり、他でも実績があるという記載があっても、1件のみであまり豊富ではなかったりするものについては、あまり評価していない。実物を見られるわけではない以上、資料の出来・不出来で評価されてしまうのは仕方ない。A事業者は資料が他と比べて劣ると感じた。</p>
委員長	<p>■採点に差が出た項目について</p> <p>○「光学機器」について委員間の点数差が大きい。各委員からの採点理由</p>

	を伺いたい。
B委員	○「光学機器」については各事業者が現時点での最大限の性能を提案していると思ったため、全体的に高い評価をつけている。
E委員	○専門家ではないことから、理解が難しかった点は、評価を全体的に厳しくした。
D委員	○光学機器の影の有無について記載を見つけられなかった箇所があったが、確認できたので、採点を修正する。
E委員	○「保守体制」について、C事業者の様式14号に保守件数の記載があるが、件数が多く、それだけ故障も多いと感じたため、点数を低くした。
A委員	○保守件数が多いということは、迅速に対応しているということであると思う。
E委員	○意見を踏まえ、採点を修正する。
委員長	○「追加提案」について、意見はあるか。
B委員	○A事業者はマスコミ、メディアをうまく使う。B事業者はソフトウェアが充実している。C事業者は地域との連携を大切にしている。各事業者の強みが出ている提案であり、実現できれば面白いと考え、全体的に高く評価している。
E委員	○C事業者に比べ、A事業者は柔軟性がないように感じたので、厳しい評価をした。
A委員	○A事業者は内容に新しさが無いように感じた。追加提案ではなく、他の様式に記載できるような内容だと思う。
委員長	○他に気になった項目がなければ、プロポーザルに参加した3者を一次審査通過者に決定することに異議はないか。
全委員	(異議なし)
委員長	○参加した3事業者を一次審査通過者として決定する。事務局は該当資料の

	<p>修正をお願いする。</p>
	<p>【4 二次審査の実施について】 (事務局より資料4の説明)</p>
事務局	<p>○採点時間や休憩時間を調整し、プレゼンテーションの時間を20分から30分に延長したいと考えているがどうか。</p>
D委員	<p>○採点と休憩の時間を調整し、合わせて20分から10分に短縮してはどうか。</p>
A委員	<p>○質疑応答の時間を20分から15分に短縮してはどうか。</p>
委員長	<p>○委員の意見を踏まえ、プレゼンテーションの時間を20分から30分に延長し、採点、休憩の時間を合わせて10分短縮、質疑応答の時間を5分短縮することによろしいか。</p>
全委員	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>○それでは、ただいまの各委員のご意見等を踏まえ、二次審査を実施することとする。事務局は資料4の内容を修正の上、各委員へ改めて送付するようお願いする。</p>
	<p>【5 その他】 (事務局より次回日程を含むスケジュールの確認)</p>
	<p>【6 閉会】 (委員長より閉会の挨拶) ～詳細省略～</p>